

県広報

とやま



知事対談

特集／第23回富山県政世論調査

トピックス／「とやま若者バスポート」の概要

県庁探訪／社会福祉課 ふるさとみてある記／大島町

1993
No.289

2

上空四〇〇メートル

日本画家 大島 秀信

風もなく穏やかな日である。案内されて機内に入ると、セスナ機はやっぱり小さい。ドアの厚さはアルミ板一枚、キリキリという音とともにブルンとエンジンがかかる。滑走路に出て簡単に浮上し海の方に向かう。四〇〇メートル上空を飛ぶそうである。下を見下ろすと街は小さく積木のように見え、やわらかな日差しがよりムードのある飛行に思えた。やがて四〇〇メートル上空に来た頃、前方の境界が茶色に見えた。パイロットの話ではスモッグが立っているのだという。いままでやわらかな日差しにみえたのはどうやら空気の汚れのせいであつたらしい。

経済に活気がある時はこんなものなのだと思いつつも自然の美を描こうとしている私にはなんだか割り切れないものがあつた。この体験は六、七年前のことであるがつい最近、孫を喜ばせるためにまたセスナ機

に乗った。前回とよく似た天候であつたが、汚れた空ではなかつた。それは自然を守るという考えが人々に行き届き、空が美しさを取り戻しつつあるからだと思つた。でも多くの発展途上国では今も生きるのに必死で、自然美などに意識がないのではないだろうか。日本はその点良い国なのだと思うながら、ふと地球に住む動物たちのことを思い浮べた。アフリカの巨大な象やキリン、シマ馬、野牛、これらの野生動物の窮状はこの世界の危機を訴えている。さらに思い浮かべる。あの湾岸戦争で油田から吹き出た煙はいまどこにいったのだろう。座礁したタンカーから流出した油はどうなったのだろう。私には人間がかつて経験しなかつた問題に、今直面しているように思われる。それは自然と科学文明との調和をどうはかっていくのかという問題である。日本は世界の国の中でこの二つのバランスが一番とれた国だと思う。しかしそれは他国の資源開発などによる自然破壊の上に成り立っていることは否めない。私は画家だから、自然の美を描こうと



する。そのとき、自然が美しくなければ到底描くことは出来ない。今もう一度世界という大きな視野で自然美を考え、日本人が本来持っている自然を愛する心を、世界に対しても拡げていくことが必要ではないかと思つているこの頃である。

ひと
アス
とやま



標高5000m地点で山田総隊長(右)と

人知が自然を越える時

日本・中国ナムチャバルワ合同登山隊気象隊員 飯田 肇さん



「ターベイン(ベースキャンプ)。我々は、頂上に到着した。平成四年三月三十日、日中合同登山隊によるナムチャバルワ峰初登頂の瞬間、ベースキャンプ内に次々と湧き起る大歓声。喜びに湧く人々の中には飯田肇さんの姿もありました。

未登の中では最高峰であることから、「幻の山」と呼ばれるナムチャバルワ峰(七、七八二m)には、これまで、中国隊が四回、日中合同隊が一回挑戦していずれも失敗に終わっています。飯田さんは、今回の登山隊に県内からただ一人新設の気象隊員として選ばれました。

「過去に一回、気象担当の経験はありましたが、今回は気象予測が格段に難しい所だったので絶えず不安がありましたね。」と胸の内を語ります。飯田さんの任務は、三五〇〇メートル付近のベースキャンプで、気象情報の収集と解析を行い、登頂までの行動を左右する気象予測を行うことでした。中国とインドの国境近くにある同峰は、雪崩が多発するうえ、長期のモンスーンや、ジェット気流、サイクロンが待ち構えています。そんな過酷な条件の下、一番最適な登頂時期を見つけなければならぬ、自分の目算違いが登山隊の生死に直結するというプレッシャーとの闘い。それだけに登頂成功の知らせを聞いた時、大きな役割を果たしたという満足感よりも安堵感の方を強く感じたとのことでした。

飯田さんがまだ学生の頃、一緒に冬の北穂高岳を登山していた友人が転落、帰らぬ人となってしまいました。突然の悲しみとともに襲ってきた冬山への恐怖感。それ以来、雪溪などの自然に真剣に目を向けるようになったそうです。その後、立山など北アルプス周辺の雪溪や積雪に興味を持ち、その魅力に引き付けられ黒部市吉田科学館の学芸員として富山に就職。「ヒマラヤ山脈の氷河や立山の雪溪の調査をこれからも継続していきたい。また富山には、雪を中心とした大きな水循環の世界があります。皆さんに富山の美しさを知ってもらうため、将来この世界を表現した博物館を造ることが夢ですね。」と語る飯田さん。自然の世界の翻訳者として、今後も活躍が期待されます。



『開かれる 平和と 発展の海』



東北大学総長 西澤潤一さん

にしざわじゅんいち 大正15年、仙台市生まれ。東北大学工学部電気工学科卒業。昭和37年東北大学電気通信研究所教授。その後同所長を経て平成2年から東北大学総長を歴任。半導体、光ファイバー分野の世界的権威。平成元年文化勲章受章。著書に『技術大国・日本』の未来を読む』『科学時代の発想法』など多数。

東北大学総長 西澤 潤一
富山県知事 中沖 豊
司 会 池田 勉北日本放送制作部長

この対談は、1月2日に放映した北日本放送「新春知事対談」を広報課で編集したものです。

は本当に広大な国土であって、大きな歴史の実験をしているのじゃないかとさえ感じる時もあり、ロシアも人々は人なつっこいところがある反面、国土が広々としていてまだまだ開発しなければならぬところもあるように思いました。

司会 そういふ地域であるからこそ、ここからの交流が非常に重要性を持つてくるわけですね。

知事 昭和五十八年は、富山県が誕生して百年、また日中国交に努力された松村謙三先生の生誕百年ということで、中国遼寧省と友好提携を行う努力をしました。一年遅れて昭和五十九年に締結したわけですが、その基礎が昭和五十七年に中国へ青年の船で訪問した時であったということです。

以来、環日本海諸国と交流するため、青年の船の事業を推進して、昭和六十三年には「日本海をめぐる友好の船」で富山県の青年諸君が中国、韓国、ロシアを訪問しました。今年の五月にも、これを進めて行きたいと考えています。遼寧省やロシア沿海地方の青年が富山の青年と友好を深めていく。これからの環日本海の将来を担う青年諸君がお互いに交流を進めてもらうと将来非常にいいのではないかと思っているわけです。

西澤 日本人は、日本海の真中に鉄のカーテンが下がっていて、いつまでたってもあちら側へはいけないものだという感

覚から抜け切っていません。しかし、古い日本を考えますと大陸と共通の縄文文化があります。その間の交流が非常に盛んだったということは、間違いない事実みたいですし、それがいつの間にか閉ざされてしまったということです。しかしやがては、人間の交流が盛んだった時代が再びやってきますので、日本海側の方々がもっと一生懸命に大陸との問題をお考えになるべきではないかと思えます。

司会 富山県の場合は、特に環日本海交流拠点構想を打ち出しておられますね。

知事 環日本海の時代を迎えて、日本海側の各県が連携、協力して交流を進めていかなければならないと考えておりますが、富山県はその交流の拠点を目指したいという構想です。

西澤 最初に情報をきちんとつかまないと交流を行おうとすると間違えることがあります。富山からも参加して下さったのですが、東北大学では毎年夏にシベリア調査団を編成しています。ノボシビルスクなどに行くと、資源問題や公害問題をはじめ、森林の乱伐など環境破壊が起

環日本海交流拠点構想



富山県知事 中沖 豊

富山県では、今年の4月に富山ソウル便の定期航路が開設されるなど韓国、ロシア、中国など環日本海諸国との交流が盛んになってきています。東北大学総長の西澤潤一さんをゲストにお招きし、「開かれる平和と発展の海」と題して、環日本海交流について中沖知事と話し合っていました。

司会 知事は、日本海沿岸地帯振興連盟で、世話人代表として、環日本海交流のバックグラウンドとも言える「日本海国土軸」を主張されていますね。

知事 日本海側を縦貫する国土軸の形成が、何故大事かというと、一つは、依然として、東京一極集中が進んでいて、太平洋側に比べて、日本海側が交通条件、産業条件、生活環境等いろいろな面で基盤整備が遅れているということです。こうしたことを是正して国土の均衡ある発展を図っていく必要があります。

二番目は、日本海側は、豊かな土地や水のほか、人材がそろっていて、固有の風土や文化などもあり、発展のポテンシャルが非常に大きいことがあげられます。

三番目は、環日本海の時代を迎えていることです。ロシアには世界有数の資源が、中国には世界最大の人口が、日本や韓国には世界でトップレベルの技術や金融の力があります。二十一世紀には、この環日本海をめぐる地域は大変発展するものと確信しています。

こういう時期にぜひ日本海国土軸を形

日本海国土軸の形成

成して、基盤の整備を進めるとともに、交流拠点としての発展もしていかなければなりません。国土庁でも、ぜひ全国総合開発計画の中で、これを明確に位置付けてもらいたいと思います。

西澤 ありとあらゆる計画が東京を中心とした星型になっていて、ますます一極集中を加速しています。東北と関西を結ぶ時に、なぜ東京を通らなければならぬのか、要するに真つすぐにいけばいいのであって、私は、仙台、新潟、富山を通って敦賀あたりから京都・大阪へつなぐことをまず第一歩にしたいとよく言います。やがては、日本海側に新幹線を通すべきだと思いますが、まず北と南との最短交通路になる東京バイパスをつくれれば、かなり東京の交通事情が緩和されます。これまで再三言ってきましたが、今、知事が促進していらつしやると聞いて安心しました。(笑)

対岸諸国との交流

司会 知事は、遼寧省やロシア沿海地方にたびたび訪問しておられますね。

知事 青年の船や、友好代表団などで数回訪問しています。やはり中国というの



のお話のように、対岸諸国の人材育成の拠点として、努力をすべきだと思っています。

今、県の職業能力開発センター、それから雇用促進事業団の技術開発センターなどが整備されて、中国はじめ、対岸諸国の皆さん方の技術能力を開発することで、長いお付き合いのできる基になるものと思っています。

西澤 シベリアの資源問題にしても、今、乱開発が大変なんです。時々報道されていますように、石油は浅い所から掘りまですから水が多い。その掘り上げた水を処理しないで流すものですから動物が死んだり植物が枯れたりしている。これから世界共通の資源になっていくものに対して、資金投入してもっと深い所から掘るようになるとか、処理方法を日本が教えるとか、そういう機械を日本が造るとかやることはいくらでもあります。富山県はまさに第一線にいらっしやるわけですから世界的なビジョンで考えていただきたいですね。

知事 経済交流はいろいろ難しい面もあり、やはり慎重で着実に行わなければいけないと思います。まず何よりも情報を正確に集めてそして皆さん方に知ってもらうことです。

西澤 きちんと足固めをしてあるような経済交流から、始まるものではないかと思っております。あまり大々的に大儲け

をしようなどというのは、むしろやってみたら困るので(笑)、本当に着実に成長していただくのが一番よろしいのじゃないかと思っています。

環日本海時代のチャンピオン

司会 開かれた海というロマンがあるようなイメージがありますね。

西澤 新潟とウラジオストクといったような点と点との交流ではなく、面と面との交流として、「ちょっとシベリアまで行ってさ」と言っていて、モーターボートを回してさっと行くような時代がやってくるだろうと考えているわけです。本来はそんなんです。また一つの範を瀬戸内海にとるべきであって、中国、四国、九州が、瀬戸内海を囲んで成立しているように、日本海を囲んで、中国、韓国、北朝鮮、ロシアが成立しているというふうにもっと大きな目で見ていただきたいと思うのです。

知事 今まで日本海は「対立と緊張の海」と言われてきましたが、これからは、「平和と発展の海」としていかなければなりません。テクノスパーライナーが出来るよう

こつています。これらについては、日本も協力して守っていかなければならない問題だと思っています。

知事 富山県は、日本海側に面して、ちょうど日本では、真中ぐらいにあり、関東、中京、関西の三大都市と等距離で扇の要のように交通の結節点になっています。そこを經由して環日本海諸国の皆さんと交流するというのは、非常にいいことだというのが基礎にあるわけですが、これから国際立県も目指しますが、特に環日本海交流の拠点としても発展していかなければいけないと思っています。

西澤 おっしゃるとおりですね。相手が大きいですから、新潟だけに任せておいては足りないんですよ。

司会 これからさらに進めていくために、どのような基本的な考え方をもちますか。

知事 一つは、人的交流、文化・スポーツ・学術交流、経済交流、こうした各種の交流を積極的に進めるとのこと。

二番目には、特に富山空港、それから特定重要港湾の伏木富山港などの交流の基盤を整備すること。

三番目には、中国の遼寧省や、去年は、ロシア沿海地方と友好提携を結んだところですが、交流を進めるためのこうした体制の整備も強調しているわけで、この三つをこれからの積極的に進めたいと考えています。

になりますと、時速九十キロで走りますから、富山からウラジオストクまでいたい九時間から十時間ぐらいで行くわけです。だからどんどん時代は変わっていくでしょうし、まさに「日本内海(笑)」という形にしなければならぬと思います。

西澤 政情も不安定ですし、急にはなかなか難しいと思います。例えば、今日本では、労働力不足の問題があります。現実に進んでいますのは、中国から技術者を呼んできて日本の町工場で実習させて帰すのです。これが向こうには、非常に効果があるんですね。

どうして日本の町工場がその人たちを引き受けるかというと、少しレベルアップしてあげようと思うのと、もう一つは後継者がいないからです。自分たちが持っている技術を誰に譲ろうかという悩みがあるため、中国の人にあけてしまおうということになる。心配する方は、「日本の技術が無くなってしまえば、アメリカの二の舞になりはしないか」と言います。しかし、これはある程度覚悟しなければならぬし、その分負けないだけどんどん先端技術を日本は伸ばしていかなければいけません。技術モノロー主義という、外に出すなという考え方はありますが、そうすると非常に狭い技術開発になりますから限度がありますし、他の国の貧乏を笑っているみたいに言われることにもなります。国際協調をやりながら、日本海圏をやがては環太平洋圏として一つの技術グループをつくっていかざるを得ない状況にあるわけです。

知事 県では、商工会連合会などと一緒に中国の技術者育成について全国モデル的な形で積極的に進めています。先生

す。特にこれから環日本海の時代を迎えまして、関係各県とも力を合せて努力していく中で、富山県はできれば環日本海時代のチャンピオンになるぐらいの意気込みで頑張らなければならないと思います。

司会 どうもありがとうございました。

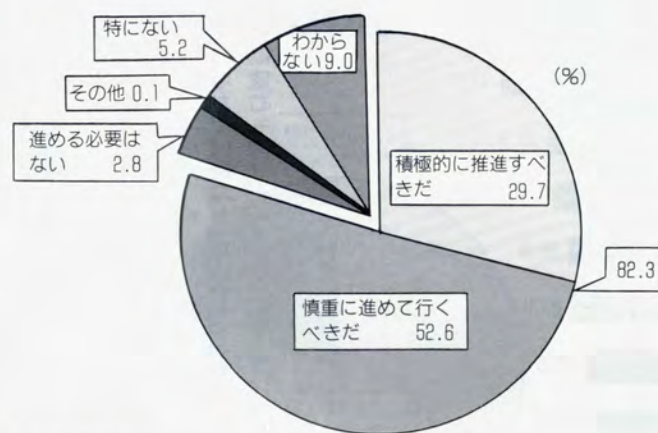




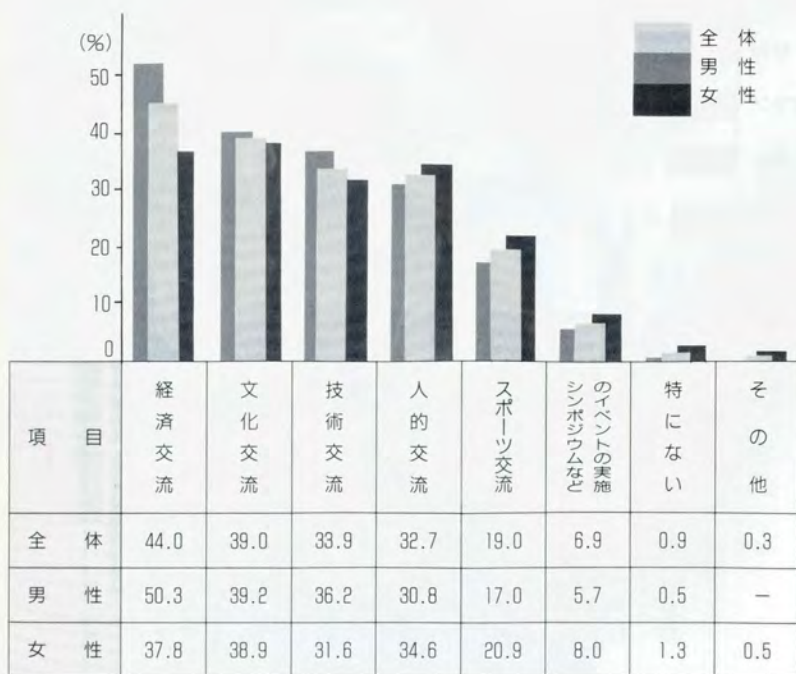
環日本海時代の幕開けを迎え、富山県では、日本海沿岸諸国との友好交流に積極的に取り組み、日本海を「平和と発展の海」にしていかなければならないと考えています。この環日本海交流については、「積極的に推進すべきだ」と答えた人29.7%を含め、交流の推進を望む人が8割を超えています。

また、交流分野については、男性が経済交流を、女性が文化交流をそれぞれ第1位にあげるなど、男女間で違いがみられます。

環日本海交流の推進意識



交流分野



●環日本海交流

Q 日本海沿岸の諸県、中国東北地方、ロシア極東地域、朝鮮半島などからなる環日本海地域はこれまで各国の政治体制の違いなどのため、あまり交流が行われていませんでした。しかし、優れた労働力や天然資源が豊富で、将来性のある地域であり、近年交流の機運が高まっています。

富山県では国際交流の柱として環日本海交流を推進しておりますが、今後これらの地域との交流をどのように進めていけばよいと思われれますか。

Q それでは、当面、県としてどのような分野の交流を重点的に進めていけば良いと思われれますか。(二つ以内)



富山県政世論調査

県政世論調査は、県民の皆さんが県政や日常の諸問題にどのような関心や期待を持っているかを把握し、県政推進の基礎資料とするために行っているものです。今回は県内各地域の成年男女千二百人を対象に次の項目について調査しました。

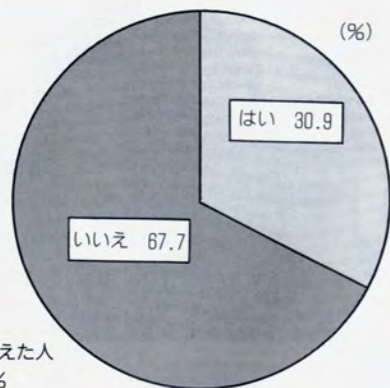
(回収率は75.3%で九百三人)
その一部を紹介します。

特集

調査項目

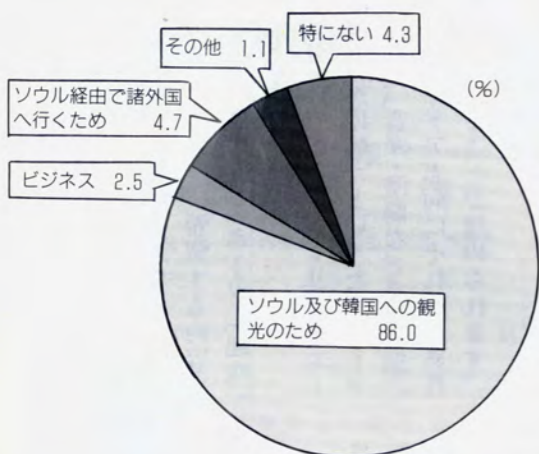
- (1) 環日本海交流
- (2) 児童を取り巻く環境
- (3) 保健医療
- (4) 高齢者対策
- (5) 労働時間短縮と余暇活用
- (6) 生鮮食品消費
- (7) 富山空港
- (8) 屋外広告物
- (9) 森林・林業
- (10) 生涯学習
- (11) スポーツ
- (12) 暴力団
- (13) 若年運転者事故防止対策
- (14) 施設の認知
- (15) 施設の活用
- (16) 広報の聴取
- (17) 県政への要望

富山～ソウル便を利用したいか

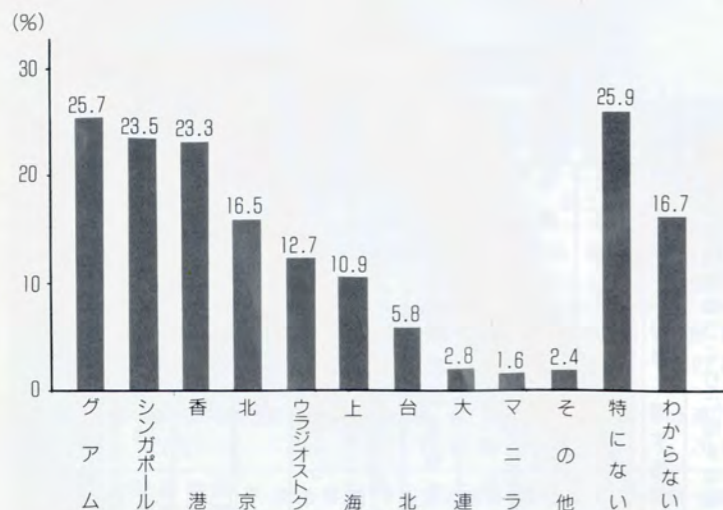


※「はい」と答えた人
男性 40.5%
女性 22.7%

富山～ソウル便の利用目的



開設を希望する国際定期便



Q 来年春から富山ソウル便が就航しますが、あなたは利用したいと思いますか。

Q どのような目的で利用されますか。

Q ソウル以外の都市へ新たに国際定期便を開設するした場合、あなたはどの経路を開設してほしいですか。(三つ以内)



富山空港

今年四月に就航する富山～ソウル便を利用したいと答えた人は、全体の三割を占めています。これを男女別にみると、男性40・5%、女性22・7%となっており、その大方の人が、利用目的を観光のためと答えています。また、新たに開設して欲しい国際定期便については、グアムの25・7%を筆頭に、シンガポール、香港と続いています。

現在、県では、全国平均を上回るスピードで高齢化が進んでいます。

人生80年型社会への移行に向けて、特別養護老人ホームなどの施設福祉サービスや、デイサービスセンター、ホームヘルパーなどの在宅福祉サービスの整備、充実が、県民の望んでいる高齢者対策として、上位を占める結果となっています。



高齢者対策として望むこと



Q 高齢化が進むなかで、あなたが、高齢者対策として県、市町村に望むものはどんなことですか。(四つ以内)

高齢者対策



県政への要望上位10項目



()内
前年度調査結果

県政への要望上位5項目(年齢別)

	1位	2位	3位	4位	5位
20~29歳	スポーツ・レクリエーション 30.0	下水道の整備 24.7	物価・消費生活 22.0	観光開発 21.3	社会福祉 20.7
30~39歳	学校教育 35.1	医療・保健衛生 30.5	物価・消費生活 29.8	高齢化対策 26.0	社会福祉 下水道の整備 自然環境の保全 22.1
40~49歳	物価・消費生活 37.2	高齢化対策 30.8	社会福祉 29.1	下水道の整備 26.5	自然環境の保全 22.6
50~59歳	物価・消費生活 40.4	高齢化対策 39.7	社会福祉 33.6	下水道の整備 30.1	交通安全 26.0
60歳以上	高齢化対策 40.5	物価・消費生活 30.6	社会福祉 29.8	下水道の整備 28.1	医療・保健衛生 22.3

県政への要望上位5項目(S63~H4)

年度	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4
1位	総合雪対策 37.8	物価・消費生活 43.9	高齢化対策 34.4	高齢化対策 34.3	物価・消費生活 32.3
2位	高齢化社会 33.4	高齢化対策 33.1	物価・消費生活 32.2	社会福祉 31.1	高齢化対策 32.1
3位	物価・消費生活 32.6	社会福祉 29.7	総合雪対策 28.7	下水道の整備 30.1	社会福祉 27.6
4位	社会福祉 27.5	医療・保健衛生 29.2	社会福祉 28.4	北陸新幹線 24.5	下水道の整備 26.6
5位	北陸新幹線 下水道整備 27.3	下水道整備 28.7	下水道の整備 26.2	総合雪対策 24.3	医療・保健衛生 22.1



あなたが、いま県の施策で力を入れてほしいと思われるものはどんなことですか。(五つ以内)



県政への要望

県政について、県民が最も、力を入れてほしいと望んでいるものは、「物価・消費生活」で、前年の第六位から急上昇し、消費税が導入された平成元年度以来、三年ぶりに第一位を占めました。

一方、これまで上位にあった「北陸新幹線」は、石動・金沢間が本格着工したこともあって、第八位へとランクダウンしています。

年齢別に見ると、年代によって、プライオリティ

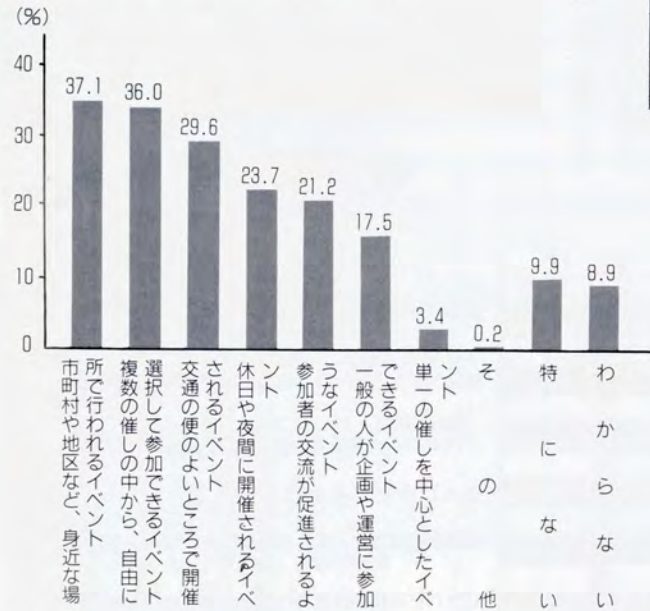
(要望優先度)の差異が明らかであり、二〇歳代では、「スポーツ・レクリエーション」三〇歳代では、「学校教育」、四十歳代以上の中高年代では、「物価・消費生活」と「高齢化対策」が筆頭にあげられています。

全般的に、「物価・消費生活」と並んで、昨年同様、「社会福祉」や「医療・保健衛生」など、高齢化社会にかかるニーズが強いことがうかがわれます。



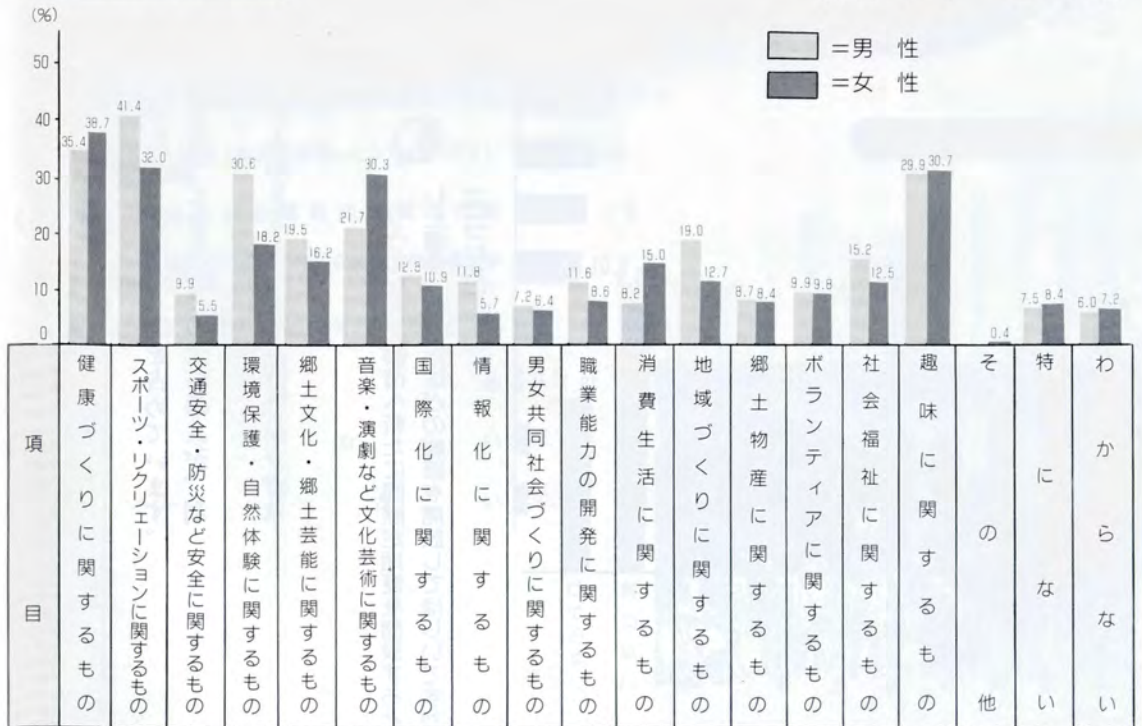
本県では、スポーツ・文化を含めた生涯学習のきっかけとして、総合的なフェスティバルの開催を検討していますが、あなたは、今後、どんなイベントに参加を希望しますか。希望する条件としていくつでもあげてください。

イベント参加のための条件



希望する内容として、いくつでもあげてください。

希望する学習内容



生涯学習

イベント参加の条件では、まず身近な場所で行われることを第一にあげており、希望する内容は、「健康づくり」をトップに、「スポーツ」「趣味」がベスト3となっています。

男女別で見ると、男性は、「スポーツ・レクリエーション」「環境保護・自然体験」といったアウトドア志向に、他方女性は、「音楽・演劇など文化芸術」「消費生活」といったインドア志向にそれぞれ異性を上回る関心を示していることが認められます。



「敢えて冬山に挑むのは何故ですか」
「己の可能性を試したいからさ」
「遙か彼方の頂上には何があるのですか」
「わからない…けど、何かが見つかると思うんだ」
「そこまであなたを駆立てるものは何ですか」
「それは白い魅惑…、いや、男のロマンかな……」

白
いい
マ
ン

撮影 / 松田 勉

PIN up TOYAMA



「とやま若者パスポートの概要」

グローバルに未来を——アクションは富山の若者から——

若者たちが、自ら主体的に考え、提案した地域づくりプランである「とやま若者パスポート」がこのほど策定されました。

県内9つの青年団体が組織した「21世紀とやま青年機構」が中心となり、約70名の若者が、平成3年11月から県内4地域で延33回にわたる「若者地域懇談会」を開催。「若者に魅力ある地域社会の実現」のため、若者がどのように考え行動していくかを、若者自身の視点から積極的な議論を行って作成したものです。

いきいきとした若者社会の創造をめざす「とやま若者パスポート」。その内容についてお知らせします。



1 「私たちはこう考える」

(若者の視点で考えた将来の魅力ある社会)

I、若者に魅力のある社会

「刺激」が感じられる まちに二四時間楽しめる活気がある等
ゆとりと豊かさを実感できる 自然が身近に感じられる、まじめと遊びが共存しうる等
まちに誇りが見出せる 富山の歴史・文化を再発見する等

II、若者がエネルギーを十分に発揮できる社会

自分が主役になれるチャンスがある 自分の意見を持っている、意見が反映される等
周りの目を気にせず、自分の思いどおりに活動できる 古い慣習や風習の束縛のない生活ができる等

小さな枠を超えてネットワーク化する 多様なネットワークを選択し、幅と奥行のある楽しい生活を送れる等

III、地域の担い手としての若者の役割

2 「私たちが期待すること」

(若者自身が実践的に取り組んでいく活動の提案)

I、若者の手による地域づくりの実施

富山の「宝」探し 若者が手作りで富山の歴史を題材にしたマンガ本を作成・活用する等
草の根の若者地域活動 地域での若者の活動を紹介する情報誌を作成し、情報を発信する牛乳パックの回収、リサイクルショップなど環境問題に関心を持って地域で取り組む等

II、若者が生き生きと活動できる事業

富山エンジョイプラン 若者に料金を安くしたり、優先的に場所を提供する「若者協力店」を開拓する。
型破り人間のすすめ 「夢のまた夢アイデア募集」等、のびのびとした自由な意見発表の場をつくる等
富山の歴史を楽しむ 富山の歴史上の人物を題材とした仮装行列やミュージカルを企画する等

若者が積極的に参加するイベント 県外、国外の若者がオープンに参加できる、「国際青年の村」を継承するようなイベントを実施する等

若者の活動拠点づくり

ポータル活動の奨励 県外や国外の一流の文化人、経済人等と対話ができる機会を増やす。「イベント助っ人バンク」を設立する等
活動の拠点となる施設づくり 若者の集いの施設を自分たちの手で管理し、運営する等

若者が積極的に参加するイベント 県外、国外の若者がオープンに参加できる、「国際青年の村」を継承するようイベントを実施する等

若者代表と知事との懇談

1月7日、県庁において、「とやま若者パスポート」の策定に携わった代表8名が知事を囲んで懇談を行いました。

若者代表から、「何かをやりたい時に、各団体が枠を超えて情報交換や協力できる体制をつくりたい」「議論するための気軽に使用できる場所がない」「イベントなどの参加を呼びかける情報発信の場が必要」など行政等に支援、協力を期待している事項について意見・提言が出されました。

これに対して知事は、「活動拠点の整備や、提言された事業については、積極的に協力し、若者を含めた人づくりの組織を強力に推進していきます」と答え、終始和やかな雰囲気の中、「これからも若い皆さんの活躍に期待しています」と言葉を結びました。



4 「私たちが語るゆめ・ユメ・夢」

(若者が長期的な視野に立って描く夢の構想)

I、若者の主体性の尊重

行政施策に若者の意見の反映(引き継ぎ)「若者地域懇談会」を開催するなど、若者の意見が聞ける機会を多くする。若者自身の考えたイベントの実施
いきいきと活動できるための環境整備
強烈な文化の刺激、情報提供の充実、スポーツの場の整備、観光などの環境整備、学会の拡大、働く機会の拡大等

II、若者の連帯促進に対する支援のために

人と人とのつながりの拠点づくりとして、時間を気にせずに集まれる場所の整備等

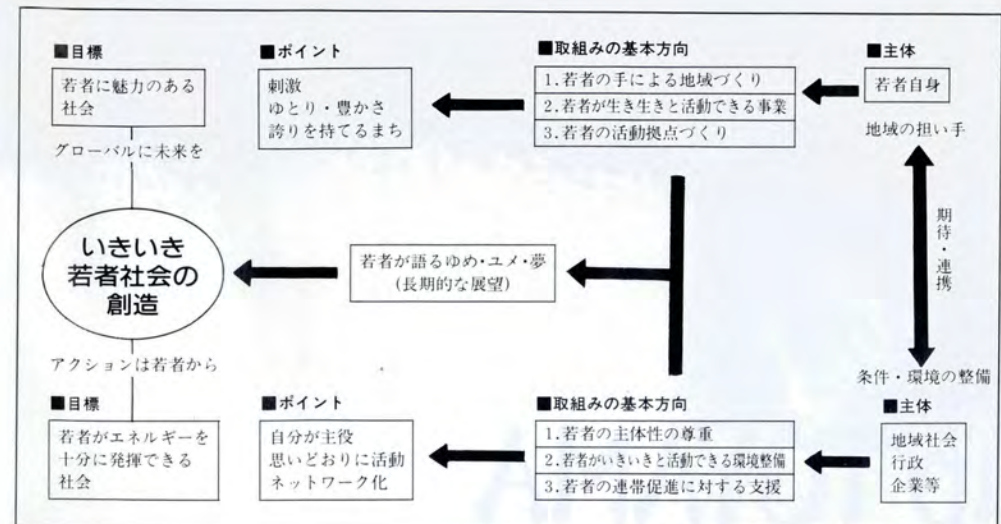
I、「ときめきと創造に満ちた街づくり」(わくわくゆうゆうメモリアル・エリア)

若者の個性を生かせる街 水辺に映しだされるイルミネーションに誘われて、恋人や友達が語り合う憩いの広場(青春メモリアルスポット)をつくる等
若者の創造力を発揮できる拠点 芸術家、文化人の発表の場としての機能や、国内外の情報に加え、レジャー、行事等、交流活動情報を瞬時に知ることができる機能等を持つ総合的な拠点を構築する

II、「自然の豊かさを体験できる基地づくり」(若者エキサイティング・エリア)

海と遊ぶ 活動的な楽しさを満喫させる海洋スポーツ基地、富山湾の神秘をさぐる深海体験施設をつくる。
空に舞う パラグライダー、ハンクグライダー、熱気球など空への冒険基地をつくる
山に親しむ 中部山岳国立公園とその周辺に山岳スポーツ基地や登山大学をつくる

若者特有の財産を生かす 自由な発想と柔軟な対応ができる等
ひとりの一歩でまちを動かす 一人ひとりが主人公だと自覚して行動する等
地域から期待される使命を果たす 新しい世の中を創る急先鋒となるよう行動する等



社会福祉課

戦後の経済発展により私たちの生活水準は大きく向上しました。一方、こうした現代社会の中にも病気や事故など様々な理由により、生活に困っている人たちが大勢おられ、私たちは共同の責任においてお互いに支えあう社会を構成しています。社会福祉課では、時代の進展とともに増大、多様化する福祉ニーズに対応し、民間社会福祉活動の支援などを通じて、心のかよいあう福祉社会の実現に努めています。

▶第4回富山県ボランティア大会



「ボランティア活動の振興

もうひとつは、ボランティア活動の振興です。ボランティア活動は、現在の社会福祉制度を補完するだけでなく、「心のかよいあう福祉社会」の実現に今や不可欠なものとなっています。

幼児、小・中学生を対象とした福祉読本の配布、ボランティアの手引きの発行、全県的なボランティア大会の開催などを通じた「人づくり」、ボランティアセンター整備などの「拠点づくり」、ボランティア活動を支える「資金づくり」が一体となって行われており、地域に根ざしたボランティア活動のネットワークが県内に広がっています。

この夏開催された「エキスポとやま博」でお年寄りや迷子の世話、清掃など地道な活動で博覧会を支えてくれたJETハーティの方々の活躍をご記憶の方も多いかと思います。この事業もボランティア活動の人づくりの一環として行われたものだと思います。ボランティアの基本は、自発性、無償性、継続性、連帯性にあると一般的に言われているようですが、「こうした事業を通じて養われたボランティア精神が個人だけでなく、地域全体の財産として蓄積され、生かされていくことを期待しています」という課長さんの言葉が印象的でした。私のボランティア経験は無いに等しいほど。身の縮こまる思いで伺いながら、私には、温かい心に包

心のかよいあう福祉社会の実現をめざして



▲根本良実参事(社会福祉課長)

「総合健康・福祉社会の確立

福祉行政についての知識が薄い私は、「福祉行政イコール被保護者に対する直接的な扶助」と思い込んでいたのですが、現在では、「地域社会や民間組織が主人公となるさまざまな福祉活動の黒子役としての役割に多くの力が注がれていることを知りました。」

ひとつは、健康で豊かな福祉社会の基盤づくりです。高齢者等の保健福祉の増進や生きがいづくりなどの事業に充てる継続的な資金を確保するための地域福祉基金の設置をはじめ、家庭・地域社会・施設が一体となった社会福祉の光を灯している社会福祉課の皆さんやボランティア活動の中心となって活躍されている方がとても輝いているように思われました。

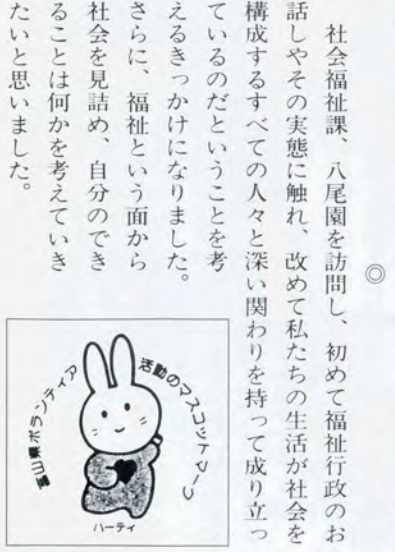
「地域に開かれた福祉施設

社会福祉課を訪問した後、私は八尾町の「八尾園」を案内していただきました。この施設は富山県内で唯一の介護施設で、生活保護法による生活扶助を受け、身体上又は精神上著しい障害があるために独立して日常生活を送ることができない要保護者を入所させ生活扶助を行うことを目的としており、二百名余りが入所しています。

近年、地域に密着した施設、地域に理解される施設ということが重要視されているそうです。八尾園でも園芸、陶芸、電子部品の組み立てなど働く喜びや生きがいの発見のための作業や町の文化祭への作品出品、お祭り参加など地域活動への協力、地域住民との運動会など、さまざまな形で社会参加を推進し、地域住民との交流が活発に行われているそうです。

園内は、食堂、階段、洗面台、お部屋など、どこを見ても清潔感があふれているのがとても印象的でした。また、作業場へおじゃましたり、園内を歩いている時も皆さんがとても気さくに「こんにちは」と声をかけてくださいました。その一方で、「この人たちは帰るふるさとながいますよ。園長さんの言葉が胸に焼きついています。訪問させていただいたのは、もう年の暮れも近く帰省ラッシュの話が上がるころでした。人ごとのように考えがちだった私ですが、さまざまな思いがよぎりました。」

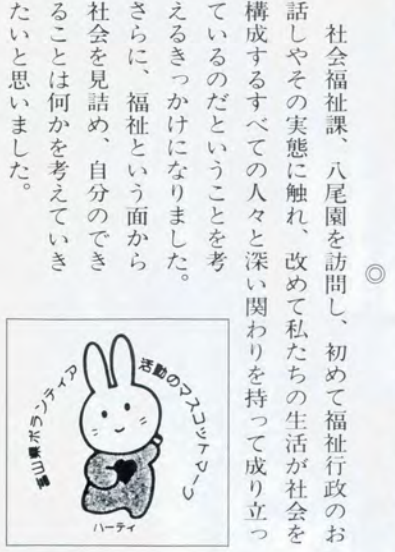
社会福祉課、八尾園を訪問し、初めて福祉行政のお話しやその実態に触れ、改めて私たちの生活が社会を構成するすべての人々と深い関わりを持って成り立っているのだということを考えるきっかけになりました。さらに、福祉という面から社会を見詰め、自分のできることは何かを考えていきたいと思えました。



◎ 社会福祉課、八尾園を訪問し、初めて福祉行政のお話しやその実態に触れ、改めて私たちの生活が社会を構成するすべての人々と深い関わりを持って成り立っているのだということを考えるきっかけになりました。

「隣の人は何する人ぞ」と、人と人との心のつながり、思いやりや助け合いの心が失われつつあると言われる今日。今回は、温かいふれあいに満ちた豊かな福祉社会をつくるため活躍されている社会福祉課を訪問しました。

レポーター…若島 京子 (ミス富山)



▶介護施設八尾園の作業棟を見学

ふるさと みてある記 大島町



▲「絵本通信」



◀絵本創作教室

絵本で心の ネットワークづくり

絵本通信

見ている、読んでいても、何かほのぼのとしたもの的心を包み、夢の世界が広がっていくのが絵本である。「絵本のまち」を目指す大島町では、一昨年から絵本創作教室や絵本会議などのイベントを開き、個性的で新しい文化を創り出そうとしている。



▲おしまファンタジーのシンボル「絵本館」の模型

さらに来年三月には、絵本をはじめとした町の文化発信基地となる「絵本館」と「絵本ふれあいパーク」が完成する予定である。「絵本通信」は、町民と全国の絵本ファンとのコミュニケーションや情報交換の場を提供する絵本をベースとした情報誌であり、内容は、特集企画や各種絵本、全国の絵本館の紹介など、絵本に関する楽しい情報が盛りだくさんである。また投稿のコーナーもあり、自分の手づくり絵本を全国で紹介することもできるそうだ。この雑誌は、全国の文化施設や絵本通信友の会の会員などに配布している。誰でも会員になれるので、興味のある人は役場へ申し込んで欲しいとのこと。絵本を通して心の輪がどんどん広がり、その中から、夢いっぱい新しい文化の誕生が待ち望まれる。

ただいま、ハーブに挑戦中

ハーブ生産組合

へちまの生産で有名な大島町だが、それに次ぐ特産品化を目指してハーブ栽培に取り組む人達がいるというので訪ねてみた。「最初は、ハーブという言葉も聞いたことがなかったんですよ」と語るのはハーブ生産組合の西田鉄雄さん。四軒の農家で六年ぐらい前から試験的に栽培をしている。



▲西田鉄雄さん

ハーブの種類は世界で二千種ほどあり、日本では香草などと呼ばれ、どくだみなどその範疇に入るといふ。香りや花が楽しめるほか、料理やお茶にも使



▲ハーブティーになるレモンバーム

われ、最近では入浴剤、化粧品などさまざまな利用法が開発されているようだ。この組合では主に入浴剤となるミントや、お茶となるレモンバームという種類を栽培している。面白い種類では、バイナツブルやオーデオロンの

臭いがするハーブもある。「最近、ガーデン式の畑をつくったんです。畝畑では、異なる種類のハーブの臭いが混じりあってしまい問題があったそうだ。「栽培はようやく軌道に乗ってきたので、今は利用者の開拓が課題です。みなさんにもっとハーブの効用や楽しみ方を知ってもらいたいですね。ハーブへの挑戦は、なかなか大変なようだが、その熱意が実って町中にハーブのさわやかな香りを漂わせるようになる日も近いことだろう。」



◀きれいな小道がつく



▶ハーブガーデン

七つの大島をつなぐシンボル

高岡・中老田線を走ると大島町のシンボル時計「ゲートサイン」が見え、近くの八塚地内の交差点の北には小さな公園がある。

大島リンクロード

全国の大島町と大島村のネットワーク化を図り、地域の活性化を目指して毎年開催されている「全国おしまリンク会議」。この二月には「全国おしまふるさとフェア」という特産市も開催されるそうだが、そんな活発な交流のシンボルとして、ポケットパーク「大島リンクロード」が作られた。ここには、七つの赤みかけ石製の案内版が置かれ、全国の大島町と村の位置、町章・村章、歴史を紹介している。またそれぞれの町村の町木・村木が植えられ、水飲み場やベンチもあるこの公園は、うるおいある住民の憩いの場として親しまれている。



▶ゲートサイン

つと「全国大島めぐり」をしてみるのも面白いのでは。

大島町の概要

人口 八、六七五人 (十二月一日現在、県人口統計調査より)
面積 七八五㎢



▲東京都大島町の案内版



案内版を見ていると、「全国いろんな所に大島があったのだ」と妙に感心させられる。この辺りを通りかかったら、休憩ついでにちよ

田園と街とが調和するフレッシュな息吹あふれる町。一昨年より、文化創造、地域のふれあいを目指し「絵本文化」事業に取り組み、「絵本館」の建設を進めている。また、特産へちまの実から数々のヘルシーグッズを開発・販売している。

「暴力団追放三ない運動」を進めましょう！

の「暴力団追放三ない運動」を推進し、万が一、暴力団から被害を受けたたり、暴力団の犯罪を見たり、聞いたたりした時は、勇気を持って警察や暴力追放運動推進センターに連絡し、地域社会から暴力団を追放しましょう。

- 暴力団をおそれない
- 暴力団にお金を出さない
- 暴力団を利用しない

このように、正当な経済活動を装って不当な要求をする暴力団に油断は禁物です。

県民の一人ひとりが
暴力団追放三ない運動を推進し、万が一、暴力団から被害を受けたたり、暴力団の犯罪を見たり、聞いたたりした時は、勇気を持って警察や暴力追放運動推進センターに連絡し、地域社会から暴力団を追放しましょう。

暴力団対策法が施行され、まもなく一年になろうとしています。



ぜったいダメ!!! 薬物の乱用は

覚せい剤・大麻・ヘロイン・コカイン・シンナー等の乱用薬物は、暴力団を中心として、青少年や家庭の主婦等にまで広がっています。

これらの習慣性薬物を一旦乱用すると、幻聴や妄想等、精神に異常を来すなどの中毒症状をもたらしたり、その購入代金に窮するため、家庭の崩壊や殺人・放火・傷害等の凶悪な事件や事故を引き起こします。

薬物を乱用するきっかけは、おもしろ半分好奇心といったものがほとんどですが、中には、「疲労回復剤」・「やせ薬」・「肩こりに効く」という言葉で職場の同僚・遊び友達・同級生など身近な人から勧められ、乱用薬物とは知らずにいつの間にか手を出しているケースも多くなっています。

薬物で困ったり、悩んだりしている方、そうした人を知っている方は、お近くの警察署や派出所、相談一〇番(42・0110)へ気軽に相談下さい。

あなたの冬は咲きますか!?

花と緑の冬のフェスティバル

入場無料

冬の県民生活のなかに、花と緑を活用した彩り豊かで安らぎのある生活スタイルを提案し、県民の緑化意識の高揚を図るため、第3回花と緑の冬のフェスティバルを開催します。



期日 平成5年2月13日(出から15日)まで

場所 富山県民会館(1階ロビー、ギャラリィA・B・C、地下展示場、国際会議場)

内容

- 外国(ハワイ)の花の展示
- スイセンのいろいろ(原種から最新の品種まで)
- 押し花の作品展示と押し花教室
- 高等学校農業科の花づくり紹介
- フラワーアレンジメントの展示と実演
- 花のコンサート、ブーケショー、講演会
- とやま花と緑の写真コンクール優秀作品の展示 など

問合せ (助花と緑の銀行
〒939-127 婦中町上書田42
☎0764-66-2425

自動車の 車検・登録は早めに



※車検は1ヵ月前から受検できます。

毎年、3月は陸運支局の窓口が大変混雑し、手続きに来られた方々に長時間お待ち願うなどご迷惑をおかけしています。

なるべく
車検は 2月中旬に
廃車名義変更は 3月中旬までに
手続きされますようお願いいたします。

中部運輸局 富山陸運支局
☎(0764)23-6618

母子・父子家庭等の電話相談

母子家庭のお母さんや父子家庭のお父さんなどを対象とした休日電話相談を行っています。子供の教育など日常生活で悩みをお持ちの方や各種の福祉施策についてお尋ねになりたい方は、気軽にお電話ください。(秘密は厳守します。また、匿名でも相談に応じます。)

●電話受付時間

祝祭日を除く毎土曜日・日曜日の午前10時から午後4時まで

●開設場所

富山市舟橋南町5-14 富山県社会福祉会館内
(財)富山県母子寡婦福祉連合会 ☎(0764)32-4298



- 12月12日 第22回富山県花き品評会(～13日)
- 12月13日 第44回愛の年末児童大会
- 12月14日 平成4年度ロシア沿海地方とのスポーツ交流(～21日)
- 12月15日 中国雲南省の中央植物園現地視察団表敬訪問
- 12月18日 立山山麓スキー場オープニングフェスティバル



立山山麓スキー場オープニングフェスティバル



県立中央病院第2期工事起工式
国民文化祭基本構想検討委員会

- 12月21日 ふくろう部隊出動式
- 12月22日 第4回快適なトイレ推進セミナー



富山県快適なトイレ推進セミナー

- 12月23日 第45回中部日本高校演劇大会(～26日)
- 1月5日 わたしたちの壁画'93展(～3月10日)



- 1月7日 若者代表知事懇談会



受講生
募集

富山県情報工房

「夢の新居設計教室」

- 日時 平成5年2月16日～18日の午前中3日間
- 場所 富山市高田527 富山県情報工房
- 内容 コンピューター製図ソフト(CAD)を使って住宅見取図を作成します。
- 対象 一般(製図等の知識が無くても可)
- 定員 16名(申込み順に決定)
- その他 受講料無料
- 申込み・問合せ 富山県情報工房

0764・44・7887

平成5年3月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
2	火	井波町役場前	10:00～15:30
7	日	小杉町「バスコ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
8	月	福光町役場前	10:00～15:30
13	土	砺波市「とらみプラザ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
//	//	八尾町「ララエイト」ショッピングセンター前	10:00～15:30
14	日	氷見市ハッピータウン前	10:00～15:30
17	水	魚津市役所前	9:30～16:00
20	土	JR高岡駅前	10:00～15:30
//	//	富山市富山西武デパート前	10:00～16:00
21	日	富山市富山西武デパート前	10:00～16:00
23	火	城端町役場前	10:00～15:30
25	木	小杉町役場前	9:30～12:00
27	土	魚津市「サンプラザ」ショッピングセンター前	10:00～15:30

※富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

確定申告はお早めに!

申告期限間近になると税務署の窓口が混み合い、長時間待たされたり、落ち着いて相談ができなかったりします。確定申告は早めに済ませましょう。
★所得税、贈与税、住民税、個人事業税の申告期限は「3月15日」です。

- 所得税、贈与税の確定申告をしなければならない方は、
①事業を営んでいる人、不動産を売った人などで、これらの所得が基礎控除などの所得控除の合計額を超える方
②サラリーマンで、給与の年収が1,500万円を超える方、又は、給与と所得や退職所得以外の所得の合計額が20万円を超える方
③個人から贈与を受けた財産の合計額が60万円を超える方 などです。

住民税、個人事業税については、所得税の確定申告書を税務署へ提出されれば、市町村、県への申告は不要となります。

★消費税〈個人事業者〉の申告期限は「3月31日」です。

申告しなければならない方は、個人で事業を営んでいる人で、前々年の課税売上高が、3,000万円を超える事業者の方です。

●なお、手続きその他の詳しいことは、最寄りの税務署までご相談ください。

- 富山税務署 ☎0764・32・4191
- 高岡税務署 ☎0766・21・2501
- 魚津税務署 ☎0765・24・1370
- 砺波税務署 ☎0763・33・1073

友好の確かな証

シマ 四島返還

北方領土の日 2月7日



戦後強制抑留者の皆様へ

請求はお済みですか

戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国の地域に強制抑留された方、またはそのご遺族に、内閣総理大臣名の慰労品(書状・銀杯)を贈呈しております。このうち、年金恩給や公務員の共済年金などを受給されていない方には、併せて慰労金10万円が支給されます。請求期限が平成5年3月31日までと迫っていますので、お早めにご請求ください!

●請求・お問い合わせ先●

平和祈念事業特別基金 業務第2課
〒112 東京都文京区大塚5-3-13
☎03-3945-4703・4707

なお、請求書類は都道府県・市区町村の窓口にも置いてあります。

表紙 撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
 エッセイ/大島秀信
 P1 ひと／飯田 肇
 P2 知事対談
 P6 特集／第23回富山県政世論調査
 P12 PIN UP TOYAMA
 撮影/松田 勉
 P14 トピックス／「とやま若者バスポート」の概要
 P16 県庁探訪／社会福祉課
 P18 ふるさとみてある記／大島町
 P20 県からのお知らせ

○「わたしたちの壁画93」が一月五日に近代美術館で開催されました。子どもたちの夢や希望を思いきり大きく描いて欲しいという願いで始まった企画展も、今回の第十二回展で最終回を迎えます。それぞれの学校で、友だちや先生と協力して大作に取り組んだ子どもたちのエネルギーが結集した作品を、ぜひご覧下さい。
 三月十日まで



みなさんの相談窓口

交通事故については
 富山県交通事故相談所東別館1階
 ☎(0764)31-4111内4400

相談110番
 家庭問題・悪質商法・寛せい剤など、どんな相談にも応じます。
 ☎(0764)42-0110

シルバー110番
 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14
 社会福祉会館内
 ☎(0764)41-4110

消費生活については
 消費生活センター
 富山市安住町7-18
 安住町第一生命ビル内
 〈一般相談は〉
 ☎(0764)32-9233
 〈金融相談は〉
 ☎(0764)33-3252
 消費生活センター高岡支所
 高岡市本丸町7-1
 本丸会館内
 ☎(0766)25-2777

県政については
 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
 ☎(0764)31-4111代
 31-3131(県民相談電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
 ☎(0766)21-9411代

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
 ☎(0765)24-5311代

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
 ☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル
 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
 ☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

テレビ広報
 ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」
 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス・イン」
 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」
 2/7 元気いっぱい/冬のレクリエーション
 2/14 2月は省エネルギー月間です
 2/21 楽しい美術館めぐり
 2/28 グローバルに未来を〜アクションは富山の若者から〜

ラジオ広報
 ●FMとやま 「ふれあいホットライン」
 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
 毎週月〜金曜日 AM9:40~9:45

新聞広報 NEWS APER
 ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
 毎月第2、最終土曜日
 「県からのお知らせ」

編集後記

④ひとアズの取材で黒部市吉田科学館へ。取材後、飯田さんの御好意により、プラネタリウムで「天から山から黒部の水」と題した三面マルチ立体映像を見せていただきました。まるで画面から飛び出してきたような臨場感あふれる水の情景は、昔、川でおぼれた経験のある私を思う存分、のけぞらせてくれました。(K)

⑤つい最近まで「完璧」を「完璧」と思い込んで書いていた私の新格言は、「原稿に必ずあるぞ 誤字脱字」。こしばらく機の底から蘇った国語辞典とのにらめっこが続いている。(A)

⑥「闇の世界に生きるお前でも笑ってるんだね 光は僕の目を傷つける」弱者へのいたわりの視線は自分自身を見つめることと表裏。救護施設取材の後、盲目で生まれた子供への父親の眼差(まなざし)を歌った『盲の嬰兒』の一節を思い出しながら、いろんな思いがよぎった帰り道でした。(M)



今話題の魚

ヒラメとカレイ

——ヒラメは栽培漁業のエース

「タイやヒラメの舞いおどり」竜宮城のホステスの中で、先月のタイに次ぐのはヒラメであろうか。
 ヒラメの成熟は生後三年であるが、この頃脂がのって美味、それが「寒ヒラメ」とくれば最高、刺し身や寿司だねに良く、ムニエルにしてもいいが、いずれにしても値がはる。

ヒラメやカレイは(ともに異体類)背鰭・臀鰭の基底が長く……その鰭条の一本一本が美しく波状に動き、動かす筋肉が発達しているからよくしまっている。まわりに脂肪がついていて、「ここを」えんがわ(縁側)と称し、煮て賞味される。このようにヒラメは、高級魚で需要も多いこと・種苗技術が確立していること・定着性のあることなどの理由で、本県での「栽培漁業」の最も有望な魚種となっている。

全国的に、ヒラメを〇〇ガレイという地方が多い。本県でもヒラメを「おおがれい」と言う人がいる。これは八〇センチ位のヒラメもいてカレイの倍以上になるからである。また一部の漁師が、ヒラメを指して「みびきがれい」と呼ぶのは身をひいて刺し身に最高ということからの方言であろう。

一方、カレイ科の魚で〇〇ヒラメという魚はいない。分類学上でも、科の上の段階では両科ともに「カレイ目」である。ヒラメ科の魚は日本に十種(うち日本海に四種)・カレイ科は三十八種(二十九種)。

ヒラメとカレイの区別は、
 ○「大口ヒラメ(鮓)に口細カレイ(鱧)」といわれるように、ヒラメの口は大きい。
 ○「左ヒラメに右カレイ」で、両眼が体の左側にあればヒラメで、右側はカレイ。
 ヒラメもカレイも、ふ化当初は普通の魚のように眼は両側にあつて、水面近くを泳いでいる。体長十センチ位(四十五日目)になると底生活になる——この頃、片方の眼が頭の上をまわって、四日間位で移動完了。移動した方の視神経が上になって、交叉する。
 移動後、稀に額骨が形成されないこと、頭上に凹所が「鉤状突起」として残る。
 この奇形は、体の前部が白色で後半が褐色であったり、体の両側とも褐色であるなど、必ず体色に異状が認められる。
 「目と色との相関性」——は、私の三十二年来の課題である。



〈奇形のヒラメ〉

省エネは未来の子供への おくりもの

2月は省エネルギー月間です

冬は暖房を中心に電気・ガス・灯油などエネルギーの消費が多い時期です。限りあるエネルギーをできるだけ有効に、また、地球にやさしい環境を守るためにも省エネルギーの推進は大切なことです。まず、できることから実行しましょう。

①部屋の暖房温度は？

おおむね20℃に調整しましょう。暖房温度を1℃下げれば、原油換算で年間一家庭当たり約23リットル、日本全体で約93万キロリットル分のエネルギーの節約になります。

②暖房機器の置き場所は？

窓側などの冷気の入ってくる位置に窓を背にして置くと、暖気が冷気を押し上げて、空気の対流が十分に行われて効果的な暖房ができるようになります。

③暖房器具のお手入れは？

わずかな汚れが暖房の効率を低下させます。ストーブは燃烧部分の掃除を。エアコンはエアフィルターを2週間に1回くらい掃除しましょう。

④お風呂の上手な使用は？

冬のお風呂の水張りは沸かす直前に、また浴槽にはふたをし、間隔をおかずに入浴しましょう。

⑤湯沸器の使い方は？

経済的にも安全の面からも、種火はこまめに消し、お湯は流しっ放しにしないようにしましょう。



暖房温度は、
おおむね20℃にしましょう。

省エネで、
きれいな地球を守りな。



省エネは未来の子どもへのおくりもの
財団法人 省エネルギーセンター